

## 地域年金事業運営調整会議（ご意見及び課題への対応）

令和3年2月

金沢北年金事務所

（石川県代表年金事務所）



# 地域年金事業運営調整会議（ご意見）平成31年2月26日

|        | ご意見等の内容   | 機構としての考え方  |
|--------|---|--|
| 年金セミナー | <p>・年金セミナーについて、生徒だけではなく保護者も巻き込んで実施することであるが、具体的にはどのような形で実施するのか。</p> <p>・大学でのセミナーの実績が無かったとのことであるが、20歳は国民年金の入り口であり、就職期になると年金手帳の相談で窓口で学生がよく来所されることから、是非とも大学での開催をお願いしたい。</p> | <p>・教育機関へのアプローチは一巡しており、今後の新規開拓は見込めない状況であることから、保護者、教員の方そして小中学校への実施の拡大、財務・労働などのセミナーとタイアップして実施する等、現在検討中であります。</p> <p>なお、保護者へのセミナーの実施については、一部であります。定期的な特別支援学校で実施しております。</p> <p>・機構としても大学への開催に向けてアプローチしていますが、カリキュラムの制約等で開催にこぎつけていません。</p> <p>しかし、4月に金沢大学において、外国人留学生向けのガイダンスでセミナーを実施することになりました。これは、国民年金の外国人対策にも直結することから、これを契機として、定期的な開催と、実施大学の増加及び日本人学生に広がることを期待しています。</p> |
| 地域連携   | <p>・地域連携事業の核となっているのが、年金委員の活動の活性化及び委嘱の拡大と思われるが、年金委嘱数が減少している。機構としてどのように考えているのか。</p>   | <p>・年金委員は職域型、地域型がありますが、その双方で減少しています。特に地域型は、国民年金委員からの委嘱換の方が多くいらしたことから、年齢も高齢化しており危機的であります。</p> <p>原因としては、機構からの研修を含めた情報提供の不足や、年金委員の方が活動できる環境を整えていないこと、機構ホームページの情報発信が薄いことと考えており、今後は、これらの充実と関係団体等への委嘱拡大の取り組み強化を、図っていくこととしています。</p>  |

# 地域年金事業運営調整会議（ご意見）平成30年2月22日

|        | ご意見等の内容   | 機構としての考え方   |
|--------|---|---|
| 年金セミナー | エッセイの中でも、「国民年金は一生もらえないから民間の保険に入った方がいいよ」と、誤った情報が中学生のアンケートで答えられているように、年金は老齢年金だけでなく、残された家族や障害を負った場合にも支給されることを、地域年金推進員を積極的に委嘱し、中学校での年金セミナーを実施する必要があるのではないか。 | 機構としても若い世代への正しい年金制度を理解していただくことは、非常に重要な取り組みであると考えていますが、現在の中学校でのカリキュラムの中で、年金セミナーを開催させていただくことは、困難な状況であり、社会保障の授業方式で実施しないと受け入れていただけない現状であります。また、その授業を実施できる適任者の委嘱に苦慮しているところです。しかしながら、機構としては若い世代への正しい年金制度の理解は最重要課題の一つであることから、今後も委嘱へ向け取り組んでまいります。 |
| 地域連携   | 学校の開催が困難であれば、先生の研修の場で、実施するとか、年金事務所だけではなく全国健康保険協会と合同で実施するとか、現場の先生のための知識アップを図ることも一つの方法ではないか。  | 機構としては、年金制度単独での説明会等の開催が、厳しい状況にあることは感じており、教育関係だけでなく各種の業界団体での開催に結び付けていくため、皆様方の必要とするニーズに応えるように、様々な関係機関との連携開催に取り組んでまいります。   |
| 地域相談   | 出張年金相談の相談件数が非常に少なかったが、その年々で相談件数が増えるように、場所・開催時期・宣伝方法等を検討しているのか。  | 機構としては、出張年金相談を開催する依頼者側のこともあり、変更出来ない点もありますが、出張年金相談・事務所で年金相談を含め、皆様が気持ちよく相談できるように、予約相談の拡充や離島でのテレビシステムを導入した年金相談の実施等、お客様とのチャンネルを拡大する取り組みを進めているところです。   |